給食施設栄養	養管理:	報告書	(病院·	診療所)【その他の紀	合食施設	设用】		1 令	和	年10	月分
給食施設の名称					施設の設置		4	₩ [<i>Z</i>	- の他の	給食施設	田上の様	計を
	(2			(法人名·職·」 給食責任					山でいま		
所在地 〒					(職·氏名 報告書作月		5	特定給	食施設	に該当施	設は「特	定給
尼崎市	(2			報古書TF/ (職·氏名		6	食施設	別人	式にご記	入くださ	il,
TEL: メールアト・レス:	13	3 (:			連絡先TE 連絡先メールア		7					
		皮薬	业主力由「咸	沈.≟Ⅰ& ±+	ᆒᇫᆋ	学表	2 田 宝	1 2 100時1	今市店美	栄養サポートチ	/ town 24.	養情報連携料
許可病尿 8	一般床	療養床	精神感		<u> </u>	1	Ξ	(9) , 	□Ⅱ]有 口無
区分			床 病 院	床	末	関 9 4	る加算			:業者		
※行数が足りない場合は、「別表」に記	氏	名			助務年数 ^{銀病院} その他		氏	名		- 一	態・勤利 当該病	§年数 院 その他
λ (1))	ш	常勤	常勤以外			Δ,	ъ	常	勤 以外		年
管理栄養士												
管理栄養士												
栄養士			10									
栄養士												
調理師	常勤		人、非常	剪	人	常勤			人、	非常勤		人
調理従事者	常勤		人、非常	営勤	人	常勤			人、	非常勤		人
その他	常勤		人、非常	営勤	人	常勤			人、	非常勤		人
運営方法 受	会社名				給食数	朝倉	ŧ	昼食	夕食	₹ そ 0	D他	1日合計
12 託 給	=-+14		40		一 常食							
□ 直営 食 会	所在地		13		般——		+					
□ 委託 社	TEL				一食 その他 特別食				- (15)			
□ 献立作成	□ 合:	材購入	□調理	或什	療養食							
	□ 下!		□ 食器		職員食							
委 □ 配膳	<u>I</u>) (14)			合計							
容	レ・クックフリ [.] 里	ーズ ∐ <i>=</i>	ニュークックラ	-ル)					(1C	\		
□ その他(<u> </u>) 		
適温給食の	□ 保温保 (17)	冷配膳車		温トレイ	□ 保温1	2器	两2 B:	善時間	朝食	昼	食	夕食
実施方法		陪車 □	その他()	HOII	D 4.7 [6]	:	1	8	:
毎食の検食	検食者:	20 医師 🗌	管理栄養士 栄養士	その他	喫食量の	把握	頻度:	23	回/	結果(活用	D 24 相	無
	記録の保存(<u>21)</u>		無		無	把握力	方法: (25) 個兒		全体(残食	調査等)
嗜好調査	頻度: (27) 回/年	結果の	28				般食	特別創	食•療養食	E B	哉員食
_ @			活用: · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		食材料	費	1人1	日当たり		日当たり 30 F	」 1人 g	1食当たり 円
	77 \$8 :					δ 5 (1)	<u></u>				34) ≒ [
31	ŀ	実施回数	-		回/年 要 □管理栄養士		3 与	無 」調理師	云磯邨		34 月 L その他	無
栄養管理に関す	る会議	以	[35 法長	医師	→ 栄養士 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	□ 保	建師	調理員		当者		
(給食委員会		職給食	[36 禁			D他)		
		種会社	上	Ē.	間理員 □ (
□有□∮			養管理に	おける課題	『理員 ── (題の把握と記 うための関係					<u> </u>		処理

栄養アセスメントの写	実施 対象:	対象: 39 注員 □ 一部(全体の約 %)								
38	把	□ 性 [□ BMI □ 身体活動レベル □ 疾患							
□有 □無	握項目	40 □ 液検□ その他		摂食•嚥下機能	□ 食習慣 □ 生活環境)				
	(41) 設定し	ている食事の種类	頁: 一般食		別食 種類 その他	種類				
施設の食事摂取基 (食事せん規約)		-栄養目標量	: □ 設定	 有(最終更新:	年 月 日) 🗌 設定無	Ę				
(及事已/0/流师)/	_	食品構成:	□作成	————— 有(最終更新:	年 月 日) □ 作成無	ŧ				
給与栄養目標量	と給与栄養	<u></u>	の平均値)	給与栄養量の算	出 □ 毎食分を算出 □ 一日合計を算	出				
※一般食のうち、」 (一般食の提供が			-	□ ≉ 49 無	── 50 報告月のみ □ #ਮの平均を算出 用平均を算出 月平均を算出					
食種名: 44		AX OIME IN SAME	グ 民主/		入院·入所 外来·通所 在宅訪 超べ件数 延べ件	問				
対象者: (年齢・性別等) 45)			栄養指導	別 10 62 件 10 63 件	件				
下記に含む食事: 46)月食 🗌 🛭	■食 □ 夕1	き □ 間食		入院・入所 外来・通所 集 回数・延べ人数 回数・延べ人数					
栄養素等の名称	単位	目標量	給与量	│	可 10月·年 65 人 10月·年 66 [6]	人				
エネルギー	kcal				□ 献立の栄養成分表示					
たんぱく質	g			り 健康・栄養情報	□ エネルギー □ たんぱく質 □ 脂質	T)				
脂質	g			の提供	実し 食塩 口その他()					
カルシウム	mg				施 献北窓の提供 原 卓上メモ					
鉄	mg	47)	48		容 □ ポスターの掲示 □ 給食便り等の配布	f ī				
ビタミンA (レチノール当量)	μg			□ □ 有 □ 無	□ 実物展示 □ 給食時の訪問					
ビタミンB ₁	mg				□ その他()				
ビタミンB ₂	mg			栄養管理部門 従事者の研修	参加回数(前年度実績)	□				
ビタミンC	mg			版事者の助 	研 □ 坐蓋関係 □ 疾病関係 □ 調理技術 □	衛生				
食物繊維総量	g			□有 □無	内容 一子の他()				
食塩相当量	g			食中毒・感染: 対策マニュアル	□ 有(最終更業 62 年 月) □ 無	ŧ				
養 不	%エネルキ゛ー			災害対策マニュア	ル	ŧ				
ラー	%エネルキ゛ー			時	□有(ℓ× <mark>64</mark> < 日分) □ 無	ŧ				
ス生 炭水化物 %	%エネルキ゛ー			の 対 食料の備著 応	□ 有(65 日分) □ 無	Ħ				
野 緑黄色野菜 菜	g			施設外との	□系列施設□近隣施設□給食会社	ŧ				
類 その他の野菜	g	d± 200 VI ± -	T- 40 4 N	連携体制	□その他()					
《給食・栄養管理にお	ける施設の	特囡、独目0.)取組み》	《栄養管理におけ	る現在の課題》					
	6				69					
《地域連携のニーズヤ	は保健所主保	崖の研修等へ	の希望》	《課題に対する改	善策とその評価》					
	68				70					

パソコンで入力する場合

◎緑色セル■に入力してください。(入力必要項目のみ緑色セル■に変わります) ※黄色セル■は数式が入っているため、自動計算されます。

※給食施設が「特定給食施設」の場合:特定給食施設の届出内容と異なる場合は、報告書右上の『届出内容の変更』有に図をし、 __赤二重カッコ部分に現在の内容を記載の上、報告書を提出してください。 (※届出事項に変更がない場合も、『届出内容の変更』無に図し、内容を記載ください。昨年度、空欄でのご提出が多数見られました。

ご注意ください)

「給食施設栄養管理報告書兼特定給食施設変更届」をもって、届出したとみなします。 自施設が「特定給食施設」「その他の給食施設」どちらかわからない場合は、健康増進課栄養管理・歯科担当までお問い合わせください。

		「VIEV/和及配設」 こうつかりかつない物目は、健康相互は不食自住・歯科担当よりの同い自行に入たさい。							
	項目名	記入方法・留意点 (●の項目は、特定給食施設の届出内容と一致していること)							
1	令和 年10月分	・該当年を記入する。							
2	●給食施設の名称	・給食施設の <u>正式名称</u> を記入する。(受託給食会社の名称ではない)							
3	●所在地・TEL	・給食施設の所在地・電話番号(代表番号)・FAX番号・メールアドレスを記入する。							
	・FAX・メールアドレス	・特にメールアドレスは、 <u>施設の公的なアドレス</u> を記入すること。(文書添付可アドレス)							
4	●施設の設置者	・その給食施設を設置した者。公的な施設の設置者は、知事又は市長とする。							
		・民間の病院や福祉施設では、その開設者である医療法人や社会福祉法人等、事業所の場合は、会社							
		の代表取締役等とする。							
		・ <u>設置者は、</u> 栄養士・管理栄養士の配置や、施設の運営等の <u>責任を持ち</u> ます。健康増進法における <u>給</u>							
		<u>食施設の栄養管理に関する事項は、当該施設の設置者に義務付け</u> られています。							
(5)	給食責任者	・当該施設の給食部門の責任者について、役職名(〇〇科長等)又は職種名(管理栄養士、栄養士							
		等)及び氏名を記入する。							
		 ※調理業務委託の場合でも、施設側の責任者を記入する。							
(6)	量 報告書作成者	・報告書の作成者について、役職名(〇〇係長、主任等)又は職種名(管理栄養士、栄養士等)及び							
	TKU E 1 /2 /4 U	氏名を記入する。							
		※調理業務委託の場合でも、施設側の作成者を記入する。							
(7)	連絡先TEL・メールアドレス	・報告書内容、給食管理についての問合せ時の連絡先(給食管理部門先)を記入する。							
	E相见 I CL·/ W/I VA	・メールアドレスについて、項目③の施設の公的なアドレスしかない場合は、"一"(パ-)を記入する。							
	=	※調理業務委託の場合でも、 <u>施設側の連絡先</u> を記入する。							
	許可病床数	・医療法に基づいて承認されいている病床数を該当する項目別に記入する。							
9	栄養管理等に関する加算	・該当するものにチェック団を入れる。							
		・報告月における算定の有無に関わらず、体制が整備されていれば「有」とする。							
		【入院時食事療養】							
		(I):①常勤の管理栄養士又は栄養士によって食事療養が行われている。							
		。 ②適時(夕食は午後6時以降)、適温							
		(Ⅱ):(Ⅰ)が算定できない保健医療機関。1食につき算定できる。							
10	●給食従事者の人数	・当該給食施設において、報告月(10月)時点で給食関係業務に従事している人数を、職種別・所属							
	! 【当該給食施設が特定給	別(施設/受託給食会社)・勤務形態別(常勤/常勤以外)に記入する。《整数・四捨五入》							
	食施設に該当する場合】	・管理栄養士、栄養士に関しては、氏名・当該施設及びその他施設での勤務年数を記入する。							
	常勤の管理栄養士及び栄 養士の員数は、特定給食	勤務形態については、該当する方に○を記入。							
	<u>・施設の届出と一致</u> してい □ ること。現在の届出内容	(※各種表彰等に推薦するには勤務年数が必要事項のため、R6より追加)							
	・に変更がある場合は、正 しい人数をご記入の上、	【職種別】							
	・ 様式右上の「届出内容の ・ 変更」の口有に図するこ	・管理栄養士、栄養士、調理師は有資格(登録)者とする。							
	٤.	・管理栄養士、栄養士の資格を有していても、他職種(調理員など)として勤務している場合は							
	''	管理栄養士、栄養士には該当しない。							
		- ・調理従事者とは、調理師資格を有さず、調理業務に従事する者とする。							
		 ・その他には、各区分に該当しない者で、給食業務に従事する者を記入する。(例:下膳、配膳、							
		食器洗浄等に従事)							
		【勤務形態別】							
		・常勤かどうかは、勤務状況で判断し、雇用形態(正職員、パート等)は問わない。							
		・複数の給食施設を兼務している場合は、当該施設における勤務時間が最も長い場合のみ記入する。							
		■ 常勤で複数施設を兼務している人 (例) ***********************************							
		当該施設 当該施設以外A							
		カウントしない 当該施設 当該施設以外A 当該施設以外B							
	答理 公 業士 - 公業士								
(11)	管理栄養士・栄養士	・管理栄養士、栄養士の行数が足りない場合は、「別表」に記入する(必要に応じて、行を追加可)。							

	項目名	記入方法・留意点 (●の項目は、特定給食施設の届出内容と一致していること)
12	運営方法	・該当するものにチェック団を入れる。
13	受託給食会社	・項目⑫にて <u>「委託」</u> にチェック団が入った場合のみ記入する。
14)	委託内容	・項目⑫にて <u>「委託」</u> にチェック図が入った場合、該当するものにチェック図を入れる。
		・施設外調理にチェック団が入った場合、() 内該当する調理システムにチェック団を入れる。
		■クックチル(盛付は当該施設で行う)
		当該施設外の給食施設で食材料を加熱調理後、冷水または冷風により急速冷却されたものを、 チルド(3℃以下)により運搬・保存し、提供時に再加熱して配膳する調理システム。
		デルド (3 C以下) により建版・保存し、提供時に再加熱して配膳する調理システム。 ■クックフリーズ (盛付は当該施設で行う)
		当該施設外の給食施設で食材料を加熱調理後、急速冷凍されたものを、フリーズ(-18℃
		以下)により運搬・保管し、提供時に再加熱して配膳する調理システム。
		■真空調理システム (盛付は当該施設でする行う)
		当該施設外の給食施設で食材料を真空包装し、低温で加熱調理後、給食冷却または冷凍された
		ものを運搬・保管し、提供時に再加熱して配膳する調理システム。
		■ニュークックチル(盛付は、当該施設外の給食施設で行う) 当該施設外の給食施設で食材料を加熱調理後、冷水または冷風により急速冷却されたものを、
		当め他設力の相談に設て良物杯を加索調査後、 ホホよんは中風により急逐中却されたもので、 チルド (3℃以下) 状態のまま盛付を行い、食事を提供する前に器ごと再加熱を行う調理シス
		テム。
		・その他にチェック団が入った場合:()内に内容を記入する。
15)	給食数	・報告月(10月)の月間平均給食数を食事区分別(一般食/常食、一般食/その他、特別食・療養食、
		職員食)、提供時間別(朝食、昼食、夕食、その他)に記入する。《整数・四捨五入》
		・一般食は、特別な栄養成分の制限や強化がない食事とし、常食、その他(軟食、流動食、ミルク等)
		に区別して給食数を記入する。
		・特別食・療養食は、特別な栄養成分の制限や強化がある食事とし、加算食と非加算食を合わせた給食
		数を記入する。
		※間食(おやつ)、検食は食数に含めない。
		提供時間別の「その他」は、夜食、深夜食等が該当する。
16)	予定給食数	・【特定給食施設のみ】 - 【特定給食施設のみ】 - 「特定給食施設のみ」
		届出で提出している「予定給食数」に変更がある場合は、
		こちらに変更後の「予定給食数」を記載する。
		柳微 类
		合計
		安全 被食款
(17)	適温給食の実施方法	・該当するものにチェック団を入れる。
		→その他にチェック図が入った場合: ()内に内容を記入する。
(18)	配膳時間	・朝食、昼食、夕食について、提供している各配膳時間を記入する。(24時間制で記入)
		・配膳時間が一定でない場合は、最も早い時刻を記入する。
19	毎食の検食	・該当するものにチェック団を入れる。
20	検食者	・項目⑲にて「有」にチェック図が入った場合:検食をしている該当職種にチェック図を入れる。
21)	記録の保存	・項目⑲にて「有」にチェック図が入った場合:該当するものにチェック図を入れる。
22	喫食量の把握	・該当するものにチェック団を入れる。
23	頻度	・項目②にて「有」にチェック図が入った場合:どのくらいの頻度で行われているか記入する。
		(例:毎回、1回/週、1回/月等)
24)	結果の活用	・項目②にて「有」にチェック団が入った場合:該当するものにチェック団を入れる。
25)	把握方法	・項目②にて「有」にチェック団が入った場合:該当するものにチェック団を入れる。
26	嗜好調査	・該当するものにチェック団を入れる。
27)	頻度	・項目®にて「有」にチェック団が入った場合:前年度にどのくらいの頻度で行われたか記入する。
		(例:1回/月、4回/年、1回/年等)
28	結果の活用	・項目ゆにて「有」にチェック団が入った場合:該当するものにチェック団を入れる。
29	対象	・項目®にて「有」にチェック☑が入った場合:該当するものにチェック☑を入れる。
		一部にチェック☑が入った場合:()内に割合%を記入する。《整数・四捨五入》
	l .	!

ı	項目名		記入7	方法・留	意点	(●の項	目は、特	持定給食	施設の原	国出内容	と一致し	している	こと)			
30	食材料費	•	・報告月(10月)の1人1日当たりの月間平均食材料費を食事区分別(一般食/常食、一般食/その他、													
			特	特別食・療養食、職員食)に <u>消費税込み</u> で記入する。《整数・四捨五入》												
31)	栄養管理に関	員する会議		・該当するものにチェック団を入れる。 ※日々のミーティングは会議(委員会)に含めない。												
32	実施回数			・項目⑪にて「有」にチェック団が入った場合:どのくらいの頻度で行われているか記入する。												
33	要領			・項目⑪にて「有」にチェック☑が入った場合:該当するものにチェック☑を入れる。												
34)	会議録の係	呆存		・項目⑬にて「有」にチェック団が入った場合:該当するものにチェック団を入れる。												
	構成職種			・項目⑪にて「有」にチェック団が入った場合:該当するものにチェック団を入れる。												
35)	施設			→ そ (の他にチ	エック	☑が入っ	た場合	: () 内に	内容を記	入する。	,			
36	給食会社		→ そ (の他にチ	エック	☑が入っ	た場合	: () 内に	内容を記	入する。	,				
37)	内容		・項目③	اتح ۲	有」にき	チェック	☑が入っ	た場合	:該当 🤄	「るもの	にチェッ	ク団を	入れる。			
				$\rightarrow $	の他にチ	エック	☑が入っ	た場合	: () 内に	内容を記	入する。	,			
38	栄養アセスス	イントの実 ^が	も	該当する	らものに	チェック	フ図を入	nる。								
39	対象			・項目③	3にて「	有」にき	チェック	☑が入っ	た場合	:該当3	「るもの	にチェッ	ク団を	入れる。		
				→	『にチェ	ック図カ	バ入った	場合:	()	内に割る	3%を記.	入する。	《整数	・四捨ま	五入》	
40	把握項目			・項目③	3にて「	有」にき	チェック	☑が入っ	た場合	:該当3	「るもの	にチェッ	ク団を	入れる。		
				→その他にチェック☑が入った場合:()内に内容を記入する。												
施設の)食事摂取基準	<u></u>														
41)	設定している食事の種類		須 ・	・一般食(軟食、流動食、ミルク等の形態も含む)、特別食・療養食(非加算食も含む)、その他												
				(職員食等)について、施設で設定している食事の種類の数を記入する。												
42	給与栄養目]標量	•	・該当するものにチェック図を入れる。												
				→ 「設定有」にチェック☑が入った場合:最終更新日を <u>和暦</u> で記入する。												
43	食品構成			・該当するものにチェック☑を入れる。												
			→ 「設定有」にチェック☑が入った場合:最終更新日を <u>和暦</u> で記入する。													
給与朱	ぐ養目標量と約	^ - * =		/ I BX	正有」に	ナエツ	ク団か入	つた場合	合:最終	史 和口	を <u>和暦</u> C	記入する	る。			
		台子宋袞重		7 182	E有」に	-テエツ	クロルト	.つに場合	合:最終	学和口	を <u>和僧</u> で	記入する	る。 			
44)	食種名	69宋袞重	•								で <u>和僧</u> で			 合は、 <u> </u>	最も提供	<u>数が</u>
44)	食種名	5分宋袞重												<u>}合は、</u> j	最も提供	数が
44 45	食種名 対象者	5分宋袞重	<u>多</u>	一般食 <i>の</i> い食種)	うち、	最も提信		多い食種	重を記入	する。	(一般食			拾は、<u>l</u>	最も提供	<u>数が</u>
			<u>多</u>	一般食 <i>0</i> い食種) 項目49 <i>0</i>)うち、)対象者	最も提信	共食数が	多い食種 、性別等	重を記入	する。 入する。	(一般食	の提供な		拾は、 j	最も提供	数が
45	対象者	ご食事	<u>多</u> ·	一般食 <i>0</i> い食種) 項目@ <i>0</i> 給与栄養)うち、)対象者 §目標量	最も提信 につい ^で (給与タ	共食数が て、年齢 栄養量)	多い食種 、性別等 に該当す	重を記入 等、を記 「る食事	する。 入する。 にチェッ	(一般食	の提供だ る。	がない場	_		<u>数が</u>
45 46	対象者下記に含む	ご食事	<u>多</u> ·	一般食 <i>0</i> い食種) 項目@ <i>0</i> 給与栄養 項目@(0))対象者 該目標量 こて「設	最も提信 について (給与5 定有」に	共食数が て、年齢 栄養量)	多い 、性別等 に該当す ク図が入	重を記入 等、を記 「る食事	する。 入する。 にチェッ	(一般食	の提供だ る。	がない場	_		数が
45) 46) 47)	対象者 下記に含む 給与栄養E	ご食事 目標量 量	多 · ·	一般食 <i>0</i> い食種) 項目級 <i>0</i> 給与栄養 項目級に 給与栄養))対象者 該目標量 こて「設	最も提信 について (給与5 定有」に	共食数が て、年齢 栄養量) こチェッ	多い 、性別等 に該当す ク図が入	重を記入 等、を記 「る食事	する。 入する。 にチェッ	(一般食	の提供だ る。	がない場	_		<u>数が</u>
45) 46) 47)	対象者 下記に含む 給与栄養目 給与栄養量	ご食事 目標量 ■ ■ 各栄養	多 · ·	一般食 <i>0</i> い食種) 項目級 <i>0</i> 給与栄養 項目級に 給与栄養))対象者 該目標量 こて「設	最も提係 について (給与タ 定有」に 栄養素別	共食数が て、年齢 栄養量) こチェッ	多い食種 、性別等 に該当す クロがみ する。	重を記入 等、を記 「る食事	する。 入する。 にチェ <u>い</u> 合:給与	(一般食	の提供だ る。	がない場	別に記え		
45) 46) 47)	対象者 下記に含む 給与栄養 給与栄養 【項目®・®】 エネルギー たんば kcal g	ご食事 目標量 1 ■ 各栄養致 <質 脂質 g	多 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一般食 <i>0</i> い食種) 項目級 <i>0</i> 給与栄養 項目級に 給与栄養) うち、) 対象者 養目標量 こて「設 養量を各 ビタミンA	最も提係 について (給与タ 定有」に 栄養素別	共食数が て、年齢 栄養量) こチェッ 別に記入	多い食和 、性別等 に該当す クロがみ する。 ピタミンC mg	重を記入 等、を記 する食事 っつた場	する。 入する。 にチェ <u>い</u> 合:給与	(一般食 y クロす 5栄養目	の提供が る。 標量を名	がない場合	別に記え	入する。 - その他の野菜 g	
45) 46) 47)	対象者 下記に含む 給与栄養量 給与栄養量 に項目®・®) エネルギー たんば kcal g	ご食事 目標量 ■ 各栄養3 <質 脂質 g	多 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一般食 <i>0</i> (い食種) 以頂目 (4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) うち、) 対象者 該目標量 こて「設 装量を各 ビタミンA μg	最も提信 について (給与5 定有」に 栄養素原 ビタミンB1 mg 小数点以下 第2位	共食数が ビ、年齢 ド養量) ごチェツ 別に記入 ビタミンB2 mg 小数点以下 第2位	多い食種 、性別等 に該当す クロが入 する。 ビタミンC mg 整数	重を記入 等、を記 する食事 った場 ^{食物繊維} 総量 9 小数点以下 第1位	する。 入する。 にチエハ 合:給生 ^{食塩相当量} ⁹ _{小数点以下} ^{第1位}	(一般食 ソクロす ラ栄養目: たんぱく質 %エネルギー 小数点以下 第1位	の提供力	がない場	別(こ記) 緑黄色野菜 g 整数	入する。 まその他の野栗 g 整数	
45) 46) 47)	対象者 下記に含む 給与栄養 給与栄養 【項目®・®】 エネルギー たんば kcal g	ご食事 目標量 1 ■ 各栄養致 <質 脂質 g	多 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一般食 <i>0</i> い食種) 項目④ <i>0</i> 給与栄養 項目②(i 給与栄養) うち、) 対象者 養目標量 こて「設 養量を各 ビタミンA	最も提信について (給与タ 定有」に 栄養素別 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	共食数が だ養量) こチェッ 別に記入 ピタミンB2 mg	多い食和 、性別等 に該当す クロがみ する。 ピタミンC mg	重を記入 等、を記 する食事 つた場	する。 入する。 にチェッ 合:給与	(一般食 ソクロす 5栄養目; たんばく質 %エネルギー 小数点以下	の提供力 る。 標量を各 脂質 %エネルギー 小教点以下	がない場合を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	別に記え	入する。 - その他の野菜 g	
45) 46) 47)	対象者 下記に含む 給与栄養量 給与栄養量 に項目®・®) エネルギー たんば kcal g	○ 食事 目標量 ■ 各栄養 (質 脂質 9 以 整数 0	多 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一般食 <i>0</i> (い食種) 以頂目④ (の () うち、) 対象者 該目標量 こて「設 議量を各 ビタミンA μg 整数 0	最も提信 について (給与5 定有」に 栄養素別 「W養素別 「M数点以下 第2位 0.00	共食数が ビ、年齢 ド養量) ごチェツ 別に記入 ビタミンB2 mg 小数点以下 第2位	多い食種 、性別等 に該当す クロが入 する。 ビタミンC mg 整数 0	重を記入 等、を記 する食事 った場 ^{食物繊維} 総量 9 小数点以下 第1位	する。 入する。 にチエハ 合:給生 ^{食塩相当量} ⁹ _{小数点以下} ^{第1位}	(一般食 ソクロす ラ栄養目: たんぱく質 %エネルギー 小数点以下 第1位	の提供力	がない場	別(こ記) 緑黄色野菜 g 整数	入する。 まその他の野栗 g 整数	

	項目名	記入方法・留意点 (●の項目は、特定給食施設の届出内容と一致していること)
5 1	栄養指導	・該当するものにチェック図を入れる。
個別		・項目 にて「有」にチェック団が入った場合
52	入院・入所延べ件数	・報告月(10月)に栄養指導実績がある場合:
53	外来・通所延べ件数	10月を選択し(手書きで記入の場合は、10月を〇で囲み)
54	在宅訪問延べ件数	報告月(10月)中の個別の延べ件数、集団の回数及び延べ人数を記入する。
集団		・報告月(10月)に栄養指導実績が <u>ない</u> 場合:
(53)	入院・入所 回数・延べ人数	年を選択し(手書きで記入の場合は、 <u>年</u> を〇で囲み)
56	外来・通所 回数・延べ人数	前年10月から報告年9月までの個別の延べ件数、集団の回数及び延べ人数を記入する。
57	健康・栄養情報の提供	・該当するものにチェック図を入れる。
(58)	実施内容	・項目(s) にて「有」にチェック団が入った場合:該当するものにチェック団を入れる。
	7 (25. 7 =	→ 献立の栄養成分表示にチェック図が入った場合 : 表示している栄養成分にチェック図を入れる。
		→ その他にチェック図が入った場合: () 内に内容を記入する。
(59)	栄養管理部門従事者の研修	・該当するものにチェック図を入れる。
60		・項目59 にて「有」にチェック☑が入った場合:前年度(前年4月~報告年3月まで)の研修参加
		回数を記入する。
61	研修内容	・項目sg にて「有」にチェック図が入った場合:前年度(前年4月〜報告年3月まで)の研修内容
		○ にチェック☑を入れる。その他にチェック☑が入った場合、()内に内容を記入する。
※項	L !目::::::::::::::::::::::::::::::::	 С
施	・・・ 記内で実施+外部で実施で	されたものに参加したものが該当し、給食関係業務の従事者が参加した回数、内容を計上する。
非常時	 fの対応	
62	食中毒・感染症対策マニュアル	・該当するものにチェック団を入れる。「有」にチェック団が入った場合:最終更新年月を記入する。
63	災害対策マニュアル	・該当するものにチェック囚を入れる。「有」にチェック囚が入った場合:最終更新年月を記入する。
※項	i目② ⑥ の各マニュア/	ルについて
Г	有」:当該施設において紹	合食(食事)に関する記載があるもの
Г	無」:マニュアルが策定	されていても、給食(食事)に関する記載がない場合
	尚、委託業者作成のマニ	ュアルであっても、当該給食施設にて対応可能なものは「有」とする。
64	水の備蓄	・該当するものにチェック団を入れる。
		「有」にチェック団が入った場合:現在の備蓄量における
		1 人 1 日当たりの想定量(ℓ)×想定人数(人)×想定日数(日分)を記入する。
65	食料の備蓄	・該当するものにチェック図を入れる。
		「有」にチェック団が入った場合:
		現在の備蓄量における、 <u>想定人数(人)×想定日数(日分)</u> を記入する。
66	施設外との連携体制	・該当するものにチェック団を入れる。
		その他にチェック団が入った場合、()内に内容を記入する。
67	給食・栄養管理における	・当該施設の給食対象者の特徴、給食提供・栄養管理等における特徴、施設独自の取組みや給食で力
	施設の特徴、独自の取組み	を入れていることについて記入する。
68	地域連携のニーズや保健所	・日頃、業務をしている中で、地域の施設間連携の要望など、感じることがあれば記入する。保健所
	主催の研修等への希望	主催の研修等への希望(講師、テーマ等)があれば記入する。
69	栄養管理における現在の課題	・当該給食施設の栄養管理における現在の課題について記入する。
70	課題に対する改善策とその評価	・項目69 の課題を解決するために、現在、実施を検討している又は、実施している改善策について
		記入する。
		・その評価として、改善策実施後の状況変化等があれば、併せて記入する。
		・(前年度と同じ課題に対して記入する場合)毎年1回、報告時点での状況を前年度との経年変化が分
		かるように記入する。
71	今後、尼崎市保健所健康	曽進課 栄養管理・歯科担当からの案内、手続き等をメールで希望する場合には、チェック☑を入れる。